

登場人物の心情を考える【変化をとらえる】座標軸

【校種・学年】 小学校第5学年

【教科・領域】 国語科

【実践の概要】

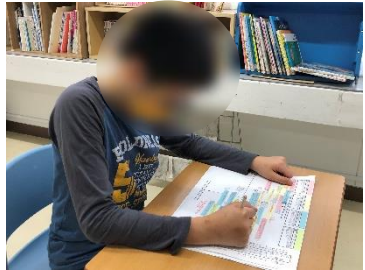
- 1 単元(題材)名 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう
「大造じいさんとがん」
- 2 単元の目標 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

3 本時の実際

(1) 本時の目標

大造じいさんの「行動や様子」、「優れた情景描写」を読み取り、表に整理する活動や友達との交流をとおして、登場人物の心情や変化について考えることができる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉トレーニング <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の難しい言葉の意味を振り返ったり、短文をつくったりする。 ○前時の振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 残雪をつかまえようとしている大造じいさんは、どんな気持ちなのだろう。 </div>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○座標軸に付箋(「行動や様子」や「情景描写」といった本文中の表現を書き出したもの)を貼りながら、大造じいさんの心情を考える。(個人思考) ○どんな表現をどの場所に位置付けたのか、選んだ表現がもつ効果などを交流する。(小交流・全体交流) 	<p>視点2(2) 「多様な情報を収集する」</p> <p>視点2(3) 「思考を表現に置き換える」</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「行動や様子」「情景描写」から、登場人物の心情や変化について考えることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習についての自己評価を記入する。 	

4 成果と課題

- 選んだ表現，ポイントした場所など，対話をとおして考えを広げたり，変えたりしている様子が見られた。
- 思考ツールと付箋を組み合わせることで，対話の足掛かりとしてだけでなく，意欲喚起にもつながっていた。
- ツールをどう見せて対話をすればよいのか，指示が明確でなかった。

5 ツールに見られた思考の姿

